



～富田っ子 みんな ダイヤモンド(かがやく)～

富田っ子だより 第13号

富田小学校 学校通信
令和4年9月13日

2学期がはじまり、3週目に入りました。学校での生活リズムも定着し、子どもたちは勉強に運動に頑張っています。

◇避難訓練を行いました

9月6日、校内で火が発生した想定で、避難訓練を行いました。

災害はいつおこるかわかりません。「自分の命を守る!」「大切な人の命も守る」そのため避難訓練です。どの子どもも真剣に訓練を行うことができました。



おはしもの約束!



お おさない
は はしらない
し しゃべらない
も もどらない



全体の講評や振り返りは、熱中症予防のため、運動場ではなく、教室で行いました。

◇防災教室を行いました



C TY、新聞取材もありました

9月9日、富田分団、サルビア分団、自主防災隊の皆さんにお越しいただき、火事等を想定した防災学習に取り組みました。(1年生、3年生、5年生)特に5年生は全員が放水体験させていただきました。

◇第3回コミュニティスクール運営協議会

防災教室、夏休み作品展を含めて、子どもたちの様子を参観していただきました。

「参観したどのクラスも落ち着いていた」「先生の話をしっかり聞いている様子で安心した」などの感想を頂きました。

その後、全国学力学習状況調査の結果などとともに、2学期の主な学校行事について説明いたしました。



<主な感想・意見>

・子どもたちが落ち着いて学習をしている。全国学調、みえスタディでも成果がでているとのこと、子どもたちの努力、先生たち、保護者の取り組み姿勢がよいのだろう。

・夏休みの自由研究で「鯨船」を取り上げている子どもが複数いた。大変うれしく思う。伝統を守っていききたいという気持ちがすごく伝わってきた。

・家族でなかよく作品づくりに取り組んだもの、子ども自身の力で作り上げたもの、それぞれ一生懸命取り組んでいる様子が見られてよかった。

・防災教室も、地域との関わりの中で実施しており、よい取り組みと感じた。11月27日に富田地区の防災訓練(会場:富田小)を開催予定。起震車(地震体験車)も準備しているので、多くの子どもたちが参加してほしい。

◇防災頭巾の必要性について話し合いを行っています

これまで本校は児童用の防災頭巾が準備されていませんでした。(市内ほとんどの学校で準備)しかしながら、近い将来に発生が予想されている南海トラフ地震等を含めて、大きな地震はいつ起こるかわかりません。

地震発生時は、「机の下にはいる」「壁から離れる」などとして訓練も行っていますが、揺れが収まったあとに運動場や屋上への2次避難等もあります。また余震も連続して起こるかもしれません。その対策として一人ひとりに防災頭巾が必要ではないかと考えています。

現在、職員会議での話し合いを続けており、コミュニティスクール運営協議会やPTA本部役員会でもご意見をいただいています。

近日中に具体的な手順等を含めて、結論を出す予定です。

その際は、あらためておたよりでお知らせいたします。

保護者の皆様には、ご負担をおかけすることとなりますが、なにより子どもたちの安全のために、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

(6年生など卒業までの期間が短い学年には、なんらかの配慮も考えていきます)

なお現在、本校には非常用の食糧として、教育委員会から配給された救給カレーがあります。本校の4階の防災倉庫に保管してあります。

防災頭巾活用例(普段は椅子背もたれに常備)



教育委員会より配給されている救給カレー

新型コロナウイルスによる学級閉鎖について(含 学校への連絡について)

学級閉鎖について

国の「学校での新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応のガイドライン」一部改訂を受けて、学級閉鎖の条件改定がありましたので、ご連絡いたします。

これまでとちがい「同一学級内で、複数の児童の感染が確認された場合でも、児童間で感染経路に関連がない家庭内感染等の場合や、他に感染が広がっている恐れがない場合は学級閉鎖を行う必要がない」と変更されました。

学校への連絡について

お子さまが「陽性、濃厚接触者」の場合は、(上記改訂のため学校での聞き取りが必要になります)H&Sだけでなく、必ず学校へ電話連絡をお願いします。(土日などは、休日明けでかまいません)また同居家族の検査等に伴い、濃厚接触者になる可能性が高い場合も連絡をお願いします。

今後もこれまで通り、新型コロナウイルス感染防止対策は行いながら、教育活動を行ってまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。